



## ふるさとの農林漁業体験 支援事業について

次の①から③の内容を全て取り入れた県内の子どもとその保護者を対象とした食育推進活動を行う団体に対して支援を行っています。

### ① 体験・交流を通じた県産農林水産物の生産・流通等の理解促進活動

農林漁業体験、市場見学、料理実習やそれらに携わる人との交流など、地域の特色を生かした魅力ある体験型の食育推進活動を実施。

### ② リスクコミュニケーション活動

県産農林水産物の安全安心の取組や放射性物質の正しい情報や知識を身につけるための活動を実施。

### ③ 体験・交流を通じた県産農林水産物の生産・流通等の理解度評価

①及び②の参加者を対象に、県産農林水産物の生産・流通等に関する理解度についてアンケート調査を実施。



留意事項

- ◎取組の対象者の半数以上は18歳以下の子ども
- ◎補助の上限額は110万円
- ◎避難地域12市町村またはそれ以外の浜通りでの実施、また、東日本大震災により避難している子どもが活動に参加できるよう配慮された事業計画を優先的に採択

その他、本事業については、以下までお問い合わせください。

お問い合わせ先

### 福島県農林水産部農産物流通課

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16  
☎ 024-521-7354    ✉ ryutsu.aff@pref.fukushima.lg.jp  
🌐 <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36035a/>

(令和7年3月発行)



# 体験型の食育 推進活動 を応援します!

ふるさとの農林漁業体験  
支援事業について



東日本大震災及び原発事故の影響により子どもを対象とした体験型の食育推進活動の減少、さらには、生活環境の変化に伴う県民の健康指標の悪化や地域社会の活力の低下が懸念されてきました。

そのため、県内の子どもやその保護者が農林漁業体験等を通じて、身近にある食に関心・愛着を持ち、また、食の安全性について自ら判断する力を養うことにより、豊かで健康的な食生活を実践してもらうことを目的に、食育や地産地消に関する体験活動を行う団体に対して支援しています。



福島県



# 令和6年度は、16の食育推進活動を支援しました。 その一部の事例を紹介します!



## 生育～収穫 調理体験

一般社団法人あぶくまエヌエスネット

参加者：97名 うち子ども44名

### 大豆を育て、お味噌を仕込もう

私たちの農林漁業体験は、「大豆を育て、収穫、脱穀、最終的に味噌を仕込む」という一連の流れをしっかりと体験学習するという趣旨のもと活動を展開しました。被災地からの参加者が多く、思い切り土に触れ、大豆を育てる!!という機会も少なく、非常に好評でした。お味噌が出来るのは1年間かかりますが、発酵食の勉強もできたので待ち遠しい気持ちでいっぱいです。



## 収穫体験 調理体験

東和地域グリーンツーリズム推進協議会

参加者：23名 うち子ども13名

### 里山の農と食とくらしの体験 自然豊かな里山で、 食べるたのしみを味わいつくそう!



食の大切さや楽しさ、収穫の喜びが、食に関するつながりとなり、それらが生活に根差していることへの理解を促すため、リアルな食育を体感していただきました。二本松市東和地域ならではの農家民宿に宿泊しながらブルーベリーの摘み取りやソースづくり、生産者たちとの交流、季節野菜の収穫、地元陶芸家を講師に器づくり、お昼ご飯には竹でつくった流しそうめんを食べました。参加されたご家族や地元の生産者たちと食の喜びを分かち合い、みなさんの思い出に残る食育体験となりました。

## 収穫体験 調理体験

株式会社福島中央テレビ

参加者：18名 うち子ども9名

### 福島ユナイテッドの選手も参加! 稲刈り体験&おにぎり・鍋づくり体験!

福島市をホームタウンにしている福島ユナイテッドFCの選手も参加して稲刈りを体験しました。会場は福島ユナイテッドFC農業部と提携しているカトウファーム。9人中8人の子どもが初めてという稲刈り体験。鎌の使い方を学び、黄金色に輝く田んぼへ!ぱっと見はわかりませんが、田んぼの中はぬかるんでいて、靴をドロドロにしながら稲刈りを頑張りました。その後、おにぎり作りも体験。稲刈りで体を動かした後というだけでなく、生産者がとても苦労しながら心をこめてお米を作っているのを体験した後なので、作ったおにぎりの味は格別でした。



## 収穫体験

会津トラベルサービス株式会社

【南会津】参加者：23名 うち子ども12名

【会津】参加者：29名 うち子ども16名

### 来て!見て!あ・い・づ 地元生産者とふれあい学ぶ! 食育学習バスツアー「南会津」・「会津」

2005年制定「食育基本法(農林水産省)」の中で、「食育は、生きる上での基本であって、知識・徳育・体育の基礎となるものであり、様々な体験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実現することができる人間を育てることです。」の明文を訴求する為に、本事業を実施し、子どもや保護者へ「食の大切さ」に気付いて頂く事を目的としています。「南会津」コースにて、鱒釣り体験及び、自身で釣った鱒を塩焼きにして食べて頂きました。鱒釣り体験は、子ども達に大変好評で、何度も釣竿を投げ入れて、楽しく体験頂きました。また、自分で釣ったばかりの魚を食す事で、福島県内の農林水産物の安全性や、命あるものを頂く「食育学習」に繋がりました。



## 収穫体験

会津若松市グリーンツーリズム・クラブ

参加者：34名 うち子ども18名

### 親子でトマト収穫体験 8月開催 親子で会津みしらず柿収穫体験 11月開催

収穫体験を通して、「旬のものを旬の時期に産地で食べる」「収穫したものをその場で食べる」といった、小学生等が地元の農産物や農業の魅力に触れる機会を提供することで、豊かで健康的な食生活や安全安心な農作物に対する理解促進を図るとともに、地産地消に対する意識の醸成を図りました。今回は夏に会津トマト、秋に会津みしらず柿の収穫体験を親子で実施しました。お昼は収穫体験でお世話になった生産者が育てたトマトや柿を市内の飲食店で味わい、地産地消を実感してもらった体験になりました。収穫体験の中で有機農法や、福島県の農産物に対する放射能の正しい知識について学習し、福島県の農産物の安全・安心と生産者の農業に対する思いを感じることができました。

る機会を提供することで、豊かで健康的な食生活や安全安心な農作物に対する理解促進を図るとともに、地産地消に対する意識の醸成を図りました。今回は夏に会津トマト、秋に会津みしらず柿の収穫体験を親子で実施しました。お昼は収穫体験でお世話になった生産者が育てたトマトや柿を市内の飲食店で味わい、地産地消を実感してもらった体験になりました。収穫体験の中で有機農法や、福島県の農産物に対する放射能の正しい知識について学習し、福島県の農産物の安全・安心と生産者の農業に対する思いを感じることができました。



## 収穫体験 調理体験

一般財団法人桑折町振興公社

参加者：23名 うち子ども13名

### 中通りの自然にふれて もっとふくしまを好きになろう! 「りんご王林収穫&王林ピザ焼き体験」

福島県桑折町は、リンゴの品種「王林」の原木も残る「王林発祥の地」です。親子で楽しめる「採って、食べて、学べる」体験ツアーとして、王林の原木がある畑で収穫体験と、イタリアンレストランで王林を使ったオリジナルピザ作り体験をしました。現役の若手生産者もバスガイドとして同行して、果樹クイズや農業トークなどを交えながら、果樹農業の魅力と課題を学びました。今まで知らなかったふくしまの農産物と食をより深く学び、親子で一緒に楽しんでいただきました。

